



《特別出演》
藤井 泰和 ふじい ひろかず

幼少より祖母阿部桂子、母藤井久仁江(人間国宝)に箏と三絃の手ほどきを受ける。東京藝術大学卒、同大学院修了。1986年NHK邦楽オーディション合格。1989年フラメンコ舞踊家小松原庸子氏とスペインマドリッドにて共演。1990年スペインセビリアより国際弦楽器フェスティバルに招待される。

2000、2001年坂東玉三郎特別公演に全国各地で出演。2006年銀明会三代目家元を襲名。同年バイオリニスト千住真理子氏と「春の海」を共演。

2011年日・独交流150周年記念行事で「藤井泰和地歌公演2011」をドイツ各地で開催。2014年シアトルにて「藤井泰和 地歌公演」を開催。その他自身のリサイタルを毎年開催、ライブ活動や国内外での演奏活動、テレビ、FM放送、CD録音、舞踊地方などで高い評価を受けるほか、各地の稽古場で後進の指導に当たっている。

福岡県知事賞受賞。文化庁芸術祭新人賞・同優秀賞受賞。芸術選奨文部科学大臣賞受賞。紫綬褒章受章。(公社)日本三曲協会理事、生田流協会常任理事、目黒区邦楽連盟副会長、二十一世紀邦楽の会顧問、東京藝術大学講師歴任、銀明会会長。CD制作「藤井泰和の三絃」(作品Ⅰ、Ⅱ)、「藤井泰和の松浦の四つ物」「松・ことほぐ」ほか



《出演者》
川瀬 露秋 かわせ ろしゅう

(くるめふるさと大使)

久留米出身。7歳より箏・三絃を三原幽香に師事。九州地歌・箏曲の中でも数少ない生田流箏曲白秋会の家元・川瀬白秋の内弟子となり、同時に九州系地歌の井上道子にも師事。

1988年に小林露秋の名を許され、多数の演奏会に出演する。また歌舞伎における黒御簾演奏、長唄、常磐津、清元、義太夫、能など古典から新作まで数々の箏・胡弓の編曲、舞踊の地方を国内外で務める。

2009年川瀬白秋の養女となり、2011年川瀬露秋改名披露。現在、藤井泰和に師事し、九州系地歌の研鑽に励みながら、舞踊の地方、歌舞伎音楽の演奏や作曲に携わるなど、三曲のみならず幅広い活動を国内外に行っている。また、若手歌舞伎俳優や白秋会後進への指導を積極的に行うなど九州地歌系・箏曲・胡弓の普及に努めている。

2014年「創造する伝統賞」受賞。2015年「くるめふるさと大使」就任。2016年「第20回日本伝統文化財団賞」受賞。2017年、アメリカ・モデスト市との姉妹都市締結25周年を記念し、市長とともに久留米市より派遣され、文化交流として箏や三絃を披露。(公社)日本三曲協会理事。生田流協会理事。白秋会代表。



田中 恵美子 たなか えみこ

10歳より、生田流箏曲・三絃を大牟田の栗原みどり(三絃)に師事。高校卒業後上京し、宮城道雄高弟・松尾清二、松尾恵子、上野和子に師事。帰福後、赤木三晃、沢井忠夫、後藤照子(三絃)、山下無風、河村利夫、小高猛(洋楽)に学ぶ。1964年石橋文化ホールにて第1回演奏会。1967年松尾恵子師を迎え演奏会。箏発展のため「琴・世界をまわる」連続公演。その後、民音公演をはじめ、コンサートやリサイタルを重ねる。

1976年久留米市芸術奨励賞受賞。1980年世界文化交流協会全国合奏コンクール優勝。1981年同コンクール優勝。1975年西日本新聞社・福岡大博覧会(音楽祭賞)。LP・CDは、コロムビア、パイオニア、ビクター、ディスコメイト、東芝他。国際親善演奏は、ベルギー、フランス、オランダ、ドイツ、香港、アメリカ等。

演奏会への出演の他、市内小学生への箏普及や後進の指導にあたる等精力的に活動している。久留米三曲協会会長。久留米音楽協会理事。賢順記念全国箏曲祭振興会理事。箏美会主宰。

久留米三曲協会

久留米三曲協会は、箏・三絃・尺八の普及向上と久留米の文化発展に寄与することを目的に創立され、現在、久留米市を中心とした十三社中が活躍しております。

毎年、秋に開催します定期演奏会は、今年で五十八回を迎えました。古典曲から現代曲まで、お客様に楽しんでいただき、また、心豊かな時を過ごしていただけるよう、会員一同精進しております。



福沢 みな子 ふくざわ みなこ

福岡市出身。3歳より箏の手ほどきを伯母今村容子より受け、のち深海さとみに師事。東京藝術大学音楽学部邦楽科生田流箏曲卒業。国内の演奏会、舞台、イベント、海外の音楽祭等に出演。胡弓を中井猛に師事。

現在、箏、三絃の指導に当たる他、福岡市内の中学校で授業を行う。宮城社教師、深海邦楽会、森の会各会員。福岡中央高校箏曲部講師。



今泉 紀子 いまいずみ のりこ

福岡市出身。箏・三絃を深海さとみに師事。1995年NHK邦楽技能者育成会卒業。2021年第28回賢順記念全国箏曲コンクール銅賞受賞。

現在、福岡にて箏三絃の教授活動をするともに、保育園での演奏を行い子どもたちに箏の魅力伝えていく。福岡県太宰府市 太宰府西中学校箏曲部講師。宮城社師範、福岡三曲協会・深海邦楽会各会員。



菊風 ゆうこ きくなぎ ゆうこ

福岡市出身。5歳より箏の手ほどきを安江菊扶路に受け、のちに深海さとみに師事。東京藝術大学音楽学部邦楽科生田流箏曲卒業。

第26回全国小中学生コンクールin宇部にて宇部市長賞、第21回賢順コンクール岸邊成雄賞、第21回くまもと全国コンクール優秀賞、令和4年度宮城道雄コンクールで秀位、2022年第29回賢順記念全国箏曲コンクール奨励賞受賞。

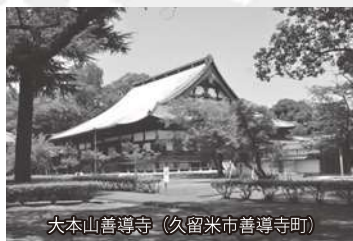
現在、東京と福岡を拠点に演奏活動、箏の指導、学校等でのワークショップなどで活躍中。当道音楽会大授賞。深海合奏団団員。福岡三曲協会会員、深海邦楽会、森の会、藝大同声会、各会員。

つくしごと もるたけんじゅん
近世箏曲の源流である「筑紫箏」を作り出した善導寺の僧 諸田賢順

箏曲の創始者として高名な鎮西大本山・善導寺の僧・賢順(1534~1623)は、少年の頃から中国の七弦琴や善導寺の寺社楽を修め、筑紫箏を編み出しました。

その後、高弟の一人である法水が、江戸へ行き、三絃の名手である八橋検校にこの筑紫箏を伝授しました。

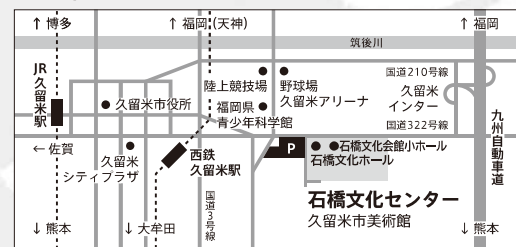
八橋検校は、これをさらに改調編曲して、今日の生田流・山田流に受け継がれ、善導寺は「箏曲発祥の地」、久留米市は「箏曲のふるさと」と言われています。



『箏曲発祥の地』記念碑(善導寺)

大本山善導寺(久留米市善導寺町)

Access



- 【バス】 西鉄バス①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺系統 JR久留米駅より約15分 西鉄久留米駅より約5分「文化センター前」下車 久留米インターより国道322号線へ車で約10分
- 【車】 8:00~22:00 最初の2時間まで200円。以後、30分ごとに100円増。 ※但し、30分以内の出庫は無料。
- 【駐車場】

感染対策にご協力ください。

- ・風邪の症状や発熱等がある場合はご来場、ご参加をお控えください。
- ・会場内では、マスク着用や手指消毒、身体的距離の確保等の感染対策へご協力ください。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、公演や講座を変更・中止させていただく場合があります。ホームページでお知らせします。